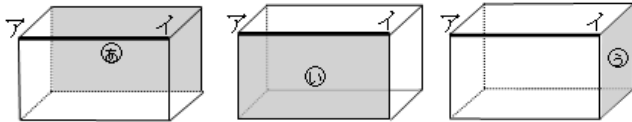


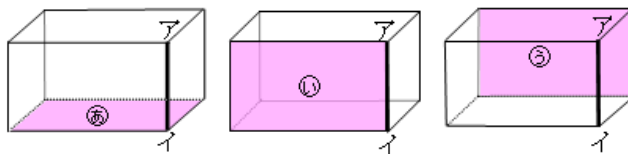
下の図のように直方体が3つあります。辺アイに垂直な面はどれでしょうか。次の㉠～㉣の中から1つ選び、その記号を の中に書きましょう。

直方体の辺に垂直な面
通過率 55.5%

平成 27 年度



平成 26 年度



平成 27 年度解答類型		割合 (%)
○	㉣	55.5
×	㉠	8.2
×	㉡	35.1
×	上記以外の解答	0.7
—	無解答	0.5

平成 26 年度解答類型		割合 (%)
○	㉠	64.9
×	㉡	27.3
×	㉢	6.3
×	上記以外の解答	1.0
—	無解答	0.5

誤答を見ると、㉡を選択している児童が多い。辺は面に含まれていなければならないと考えており、辺と面の位置関係の正確な理解ができていないと考えられる。

内容の系統

第4学年 図形

・直方体、立方体(直線、平面の平行や垂直の関係)

第5学年 図形

・角柱、円柱(見取図、展開図)

中学校第1学年 図形

・空間図形(直線や平面の位置関係)

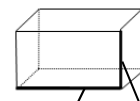
提案 具体物を用いて平行や垂直の関係を観察し、説明させましょう。

- 児童のつまずきの実態に応じて、段階的に指導していきましょう。
 - ・直方体の箱に三角定規を当て、辺と辺、面と面、辺と面の平行や垂直の関係について具体的に調べる活動を取り入れる。
 - ・見取図から辺と辺、面と面、辺と面の間を見付け、立方体や直方体と対応させることで、平行や垂直を確認する活動を取り入れる。
 - ・日常生活の中から平行や垂直の関係にある辺と辺、面と面、辺と面を見付け、「平行」や「垂直」という用語を用いて説明する活動を取り入れる。

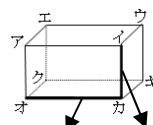
Point 具体的な事象の観察を通して、実感の伴った理解をさせましょう。

Point 記号を用いて辺や面を適切に表現させましょう。
例：「この辺とこの辺は垂直です。」

↓
「辺オカと辺イカは垂直です。」



「この辺とこの辺は垂直です。」



「辺オカと辺イカは垂直です。」